

平成 24 第 3 回定例会一般質問

1. 行財政運営に関する基本姿勢と諸課題への取り組みについて

- (1) 新たな政策の取捨選択と政策実現までのプロセスについて
- (2) 総合計画、都市計画マスタープラン等々諸計画の年次バランス（調整）について
- (3) 政策決定プロセスの情報開示並びに行政課題の評価と事業採択の優先順位について
- (4) 財源対策に対する基本姿勢と中長期的な財政収支について

2. 行政情報システム及び地域情報化計画への取り組みについて

- (1) 情報管理部門の調整機能について
- (2) 行政情報システムの現状と課題について
- (3) 行政情報の発信のあり方について
- (4) 新たな地域情報化計画の策定について

3. 新病院への移転を踏まえた市立根室病院の組織機構並びに病院経営について

- (1) 組織機構の改編に関する考え方について
- (2) 新病院建設に係る設計変更及び事業費の拡大について
- (3) 平成 24 年度上期の診療実績を踏まえ経営見通しについて
- (4) 新病院への移転を踏まえた病院経営の優先課題について

2012/09/26

根室市議会議員

本田俊治

通告に基づき一般質問をさせていただきます。

議員となり3年が経ちました。

この3年間、市民皆様とお約束をした病院問題を中心に市民目線で市政運営のあり方に対し、意見を述べ、また、提案をさせていただきました。

議場での長谷川市長との質疑は、私の率直な感想として申し上げますと、かみ合うことはほとんどな、特に、病院問題に関しては、思いとはかけ離れたお答えにストレスが溜まるいっぽうでした。

私の能力不足も一因でありますので、反省をしつつ、今回も、限られた持ち時間ではありますが、実りある議論の場となるよう取り組んでみたと思っておりますので、よろしく願いいたします。

はじめに、行財政運営に関する基本姿勢と諸課題への取り組みについてお伺いします。

長谷川市長が様々打ち出す政策に関しましては、「いつ、どこで、そんな話になったのか?」、「既に、そんなところまで話が進んでいるのか?」と疑問に感じるがよくあります。

昨年秋に実施した公的資金借換債の現金償還3年の据え置き、特別養護老人ホーム増床のための多額の助成、明治公園 憩いとふれあいの森整備事業、さらには、国からの提案という位置づけにはなっておりますが、第7期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画の柱ともなりそうな「北方領土隣接地域の顔となる地域社会形成の取り組み」＝重要港湾根室港根室港区の再開発と根室駅から市街地の再開発等々が一例です。

これらの計画に関して、「どの様なプロセスで意思決定されたのか、また、されるのか?」、「総合計画や都市計画マスタープランとの整合性は図られているのか?」、「経営悪化が続く病院問題がありながら、財源対策は大丈夫なのか?」、「他にも、計画されていた行政課題があるはずではないか?」、「休止中の事業の方が優先すべきではないのか?」、「何故この事業が優先されるのか?」等々様々な疑問が湧いてくるわけです。

市長が掲げる「市民と協働で進める街づくり」、「オール根室での事業推進」のためには、政策立案、決定、実施、評価のプロセスが常にオープンであるべきですが、これからのプロセスにおける情報発信手続きが適時的確に行われていれば、私の思う様な疑問も起きないわけです。

そこで、4つの視点から質問をさせていただきます。

1点目として、市民との協働による行政運営を進めるためには、新たな政策の取捨選択と政策実現までの一連のプロセスをオープンにすることが重要と考えるが、市長のお考えを伺います。

次に、総合計画、都市計画マスタープラン等々諸計画の関係性や年次バランス（調整）をどの様に考えているのか伺います。

3点目として、政策決定プロセスの情報開示並びに行政課題の評価と事業採択の優先順位に対するお考えについて、伺います。

4点目として、（市長が掲げる諸政策の推進には、持続可能な財政運営が当然ベースになるわけであり、加えて、次世代に過大な負担とならないよう、シビアな財源確保の裏付けの下に実施されるべきであるものと考えます。）

その為には、諸政策実現の要となる財源対策に対する基本姿勢や中長期的な財政収支見通しを明らかにすることが重要と、私は、考えますので、市長の見解を伺いたい。

次に、行政情報システム及び地域情報化計画への取り組みについて伺います。

6月議会の補正予算審査で明らかになった、新病院の医療情報システム導入計画の「電算処理運営委員会」への報告承認手続きの漏れ。

ご答弁は、さほど、重要な問題と捉えられていないように感じましたが、3億円もの多額の投資となるシステム構築です、利用方法も当然ですが、一般会計の後年時負担を考えれば、当然シビアな精査が必要な、非常に重大な事業でありながら、正規の手続きも踏まれずに進められる、市の組織のありかたに疑問を感じたところです。

そこで、電算処理運営委員会の役割なども含め、情報管理部門の調整機能のあり方に対する市長の見解を伺います。

次に、導入から10年が計画している行政情報システムについて、どの様な現状認識をされているのか、また、行政情報システムの整備・充実は国が進める電子自治体に関する自治体クラウドや地域情報プラットフォーム等の諸動向等も踏まえ検討すべき、重要課題と考えますが、今後のシステム整備方針等も含め市長のお考えを伺います。

3点目として、急速に普及するスマートフォンやSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）、それを支える情報通信のブロードバンド化・モバイル化、高速通信ネットワークを利用するオンラインコミュニケーション、ソーシャル・ネットワーク等々を行政はどの様に活かすべきか？ 行政運営上、検討を要する課題の一つと考えます。

そこで、行政情報の発信のあり方に対するお考え、並びに、昨年、9月議会で提案しましたSNSの活用に対するこの1年間の取り組みの状況について伺います。

4点目として新たな地域情報化計画の策定の必要性について伺います。

3年前、時代にそぐわなくなっている現行の「地域情報化計画の見直し」の必要性を提案させていただきました。この間、情報通信分野の技術革新は、私などの想像をはるかに超え、驚きを伴う様々な発表が繰り返され、急速な発展を続けています。

防災、教育、高齢者福祉、観光等々様々な行政分野で可能性を感じるところであり、地域に必要な根室市独自の「新たな地域情報化計画」策定が急務の課題と、私は、考えますが、市長のお考えを伺います。

質問の終わりは、新病院への移転をふまえた市立根室病院の機構並びに病院経営について伺います。

はじめに、今議会に、新病院開院に向け管理体制の強化と医療事故防止・医療安全管理を目的として「医療安全部」を設ける提案がされていますが、どの様な機能を想定されているのか伺います。

また、基本構想、基本計画では、医療安全部の他にも、訪問看護（支援）室の設置、医療・福祉相談のための医療相談室の設置とMSW（メディカル・ソーシャルワーカー）の配置等々様々な組織改編、人員配置を盛り込まれていますが、全体的に、今一つ、組織機構の見直しの考え方が不透明であり、どうされようとしているのか、見えません。

そこで、新病院への移転を踏まえた、組織機構の改編をどの様に準備されているのか市長のお考えを伺います。

次に、新病院建設に係る設計変更及び事業費の拡大について伺います。

竣工間近になっての設計変更。追加される建設費は3億4千7百万円、医療情報システム、機械及び備品が7千万円。事業費確定に伴う減額分を除けば、新たに4億円を超える増額補正が提案された訳です。

事業費については、これまで抑制に努めたいとうご答弁をいただいております。医療機器については、前回の議会で可能な限り経費の節減に努めたいとされ、医療情報システムに至っては3億円以内に納めるとご答弁を頂いたばかりです。

竣工間近のこの時期での、設計変更及び事業費の拡大をどの様に捉えればよろしいでしょうか？理解に苦しみます。

そこで、市長のお考え伺います。

3点目は、平成24年度上期の診療実績を踏まえ経営見通しについてであります。

先に示された、平成24年度市立根室病院事業会計経営状況は、医業収益を、統計学的分析手法を用い推計され、結果、現時点では、現計予算値にて推移するとう内容でした。

本年度4月から6月まで診療実績が落ち込む中、更には、過去の月別の患者動向の推移なども参考に考えれば、統計学的分析なる手法を用いた推計には疑問を感じるどころであり、私は、今回の「統計学的分析手法」は適切な経営見通しを導く手法でとしては馴染まないものと考えます。

現実的な経営分析、見通しを行うべきではないでしょうか？ それを明らかにしながら、次の手を打つのが、経営者としての責任ではないでしょうか？

そこで、本年度上期の診療実績を踏まえた経営見通し等に対する、市長の見解を伺います。

終わりに、新病院への移転を踏まえた病院経営の優先課題という観点からお聞きします。

竣工まで、2か月を切りました。そして、新病院オープンまで4か月。待ったなしの作業が続きます。全て、判っていたことです。

この段階に至っての、事務部門の人事異動にも疑問を感じます。3月議会で今年度のハード・ワークについては指摘させていただきましたし、体制強化の必要性も述べましたが、何故ここで？大丈夫なのか？と思うのは私だけではないと思います。

今の状況で、あれもこれも出来るわけではないと思いますが、その中で、何を優先として病院経営を進めようとしてされているのか？

4億円を超える事業の増、その中で、追加分の医療機器や医療情報システムは過疎債の対象外と聞いております。これらの変更を踏まえた、病院の収支見通しは示されていません。

そればかりか、今年度の医業収益は現時点で当初予算の確保が可能という見通しです。

病院経営に対する取り組み姿勢に疑問を感じます。わるいものはわるいと今を明らかにする姿勢、踏まえて、自ら改善に努めるという思いが感じられません。

現状、実態を明らかにすること、更には、解りやすい目標設定、優先課題の設定が必要ではないでしょうか？

目標が明確でなければ、医師をはじめ病院職員のモチベーションを保つたことも難しいものと考えます。

そこで、現時点で、病院経営についてどの様な目標設定をされ、かつ、新病院への移転を踏まえ病院経営の優先課題をどの様に位置づけているのか、市長のお考え伺いし、壇上からの質問といたします。